

第 18 回東北地区国立高等専門学校

技術職員研修 参加報告

技術長 鈴木 徹
副技術長 伊藤 眞子
技術第一班 木村 英人

1. はじめに

平成 28 年 8 月 22 日(月)から 23 日(火)にかけて、「東北地区国立高等専門学校技術職員研修会」に参加したので報告する。

2. 概要

東北地区の国立高等専門学校に勤務する技術職員に対して、その職務遂行に必要な一般知識及び新たな専門的知識、技術等を習得させることにより、技術職員としての資質の向上を図ることを目的とする。

3. 研修会場

八戸工業高等専門学校 3 階 大会議室

4. 日程

<一日目>

9:00-9:10	開講式
9:10-10:00	講演 「八戸高専の COC/COC+」 講師：齊藤 貴之 教授
10:10-11:00	講演 「岩手県野田村での、震災復～ 地域創生支援のとりくみ」 講師：河村 信治 教授
11:10-14:20	技術課題の発表と討議 技術長会議を併行開催 (昼休憩あり)
14:35-16:30	業務情報交換会
16:30-17:00	写真撮影・校内見学
18:30-	情報交換会

<二日目>

9:00-12:00	施設見学 「北日本造船株式会社」
12:00-12:10	閉講式

5. 研修内容

1 日目の最初は、齊藤教授による八戸高専の COC/COC+についての講演であった。COC/COC+とは文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」という、大学が自治体を中心に地域社会と連携し、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としたプロジェクトである。八戸高専でも採択されており、プロジェクトを通じて学生自ら課題を認知し、解決に向け能動的に行動できるように教育を行っている取り組みについて聴講した。また、それに伴い「まち・ひと・しごとづくり」を推進し、学生の地域への定着を目指していた。次の河村教授による講演では、東日本大震災でのボランティア活動について、またそこからの長期的なビジョンでの、地方創生のあり方等について聴講した。

技術課題の発表では、木村が口頭発表を行った。各高専でも、業務や教育改善、公開講座についての発表が行われた。併行して、鈴木技術長が技術長会議に参加し、討議を行った。業務情報交換会では、伊藤副技術長が口頭発表を行った。ここでは、普段各高専がかかえている様々な問題を提起し、活発に質問や意見交換が行われた。

二日目には北日本造船株式会社に施設見学に行き、ステンレス材の溶接や鋼材の曲げ加工等の熟練技術を見ることができた。

6. おわりに

今回の研修では、様々な分野での取り組みが紹介され、各高専が効率的に、また効果的に業務や教育を行っている印象を受けた。

このような姿勢を忘れず、今後の教育・研究活動に生かしていきたい。